

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

① 第三者評価機関名

NPO 法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと

② 施設・事業所情報

名 称：かなやまこども園	種 別：下呂市公設民営 保育所型認定こども園	
代表者氏名：小出義彦（園長）	定員（利用人数）：136名（104名）	
所 在 地：下呂市金山町金山 2301 番地 3		
T E L：0576-32-2373	https://www.city.gero.ig.jp/site/gerokaerunet/1020.html	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：平成22年4月1日 指定管理開始（法人設立 平成20年3月3日）		
経営法人・設置主体（法人名等）：NPO法人ふるさと金山 下呂市（公設民営）		
職員数	常勤職員：35名	非常勤職員：8名
専門職員	（専門職の名称）	
	保育士 31名	管理栄養士 2名
	保健師 1名	調理師 2名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	未満児室2・年少室2・年中室2 年長室2・一時預かり室1・給食室 保健室・相談室・遊戯室・事務室 会議室・休憩室・印刷室・	園庭・プール・遊具・倉庫・エレベーター 花壇・農園・園児用トイレ洗面台・職員用トイレ 洗面台・給食室温水器・TV・エアコン・加湿器 空気清浄機・扇風機・洗濯機

③ 理念・基本方針（※転載）

<p>理念</p> <p style="margin-left: 20px;">地域の自然や人材を生かしながら、子ども達が今を幸せに生活し、心豊かでたくましく未来に生きる力を育むとともに、家庭・地域における子育てを総合的かつ積極的に支援する。</p> <p>基本方針</p> <p style="margin-left: 20px;">＜園目標＞ 仲間と共に たくましく かがやく子 ～できたこと → 自信 → 一人歩き～</p> <p style="margin-left: 20px;">先が見えない今後の社会を生きていくためには、自分の力でたくましく生きることはもちろん回りの人々との協働が不可欠である。人は一人では生きていけない。そんな近未来の社会を乗り越えていくために自分で考え仲間と共に主体的に考え動くとするたくましさを培いたい。</p> <p style="margin-left: 20px;">一人ひとりの命はかけがえのない存在である。どの子も精一杯今を生きようとしている。自分の命を大切にすることはもちろん、幼児が一人ひとりのよさや持ち味を十分発揮し、自分の命を</p>

きらきらと精一杯輝かせることを願っている。

そのためには、幼児一人ひとりができた事実を増やし、それをきちんと捉え認めることで自己の自信につなげ、ひいては小学校で一人歩きできる力につなげていきたい。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

・母体であるNPO法人ふるさと金山は、「かなやまこども園」の他に、子育て支援センター、発達支援センターが同建物に併設され、隣接の児童館と併せてNPO法人で運営しており、こども園はその一つの子育て支援の拠点として各機関と連携し、乳幼児期の人格形成に取り組んでいる。全職員がNPO法人の会員でもある。

地域住民の協力や保護者会も主体的に園の設備整備に関わり、子が育ち、親も育ち、ひいては地域のつながりも深め、街ぐるみで子育て支援に努めている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年5月1日（契約日）～ 令和3年12月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回目（平成28年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

・NPO法人の運営組織体制の明確

今年度、小中学校の教頭・校長のキャリアを持つ園長を迎え、園長としてのリーダーシップで保育・教育目標を具体的にし、園小中一貫教育を視野に入れて小学校との意見交換を重ね、連携の強化を図っている。前回5年前には存在しなかった運営管理者が2年前に着任し、施設管理と渉外全般を担い、園内推進委員会、園内職員会、NPO運営委員会の流れで組織体制を充実させ、こども園のめざす方向性が設立当初からぶれることなく、地域と密着し子どもの成長と共に親も成長できる実践に取り組んでいる。

・園全体の職員で子どもを育てる姿勢

園長を始め副園長、運営管理者、主任、フリーの職員が常に子どもの様子を把握し、担任のフォロー体制が出来ており、職員間で相談や連携が図られている。

クラス受け持ちにかかわらず、職員はどの子も名前呼び、笑顔での声掛けを励行し、保護者への温かい支援で信頼関係の構築に努めている。

保育士は子どもの実態記録を取り、月齢に応じた保育理解や研修に取り組み、公開保育で専門性を高め共に学ぶ姿勢を常に持ち、保育実践につなげている。

・施設整備の充実と地域人材の活用

園の隣に豊かな土壌の畑があり、「野菜名人」の協力で季節の野菜を育て、収穫し給食やおやつ

として提供し食育につなげている。

また、保護者会の協力で園庭の環境整備や遊具の補修整備等が行われ、安全に遊ぶことができ、園庭の檜にツリーデッキを設け、園児の遊びの領域を拡げている。

廃棄物コンテナを設置し園で未満児のおむつ処理を引き受けている。送迎バス乗降の通路屋根の整備で雨の日も濡れない環境にするなど施設整備の充実を図っている。

・関係機関との連携で適切な支援

同建物に併設の発達支援センターはNPO法人が運営しており、センター職員とクラス担任、保護者との連携体制が構築されており、園内で個別指導が受けられ、適切な支援に努めている。園長は、すべての子どもたちが共に認め合い助け合って成長し合えるインクルーシブ保育を推進している。

◇改善を求められる点

・子どもの成長発達を意識した取組

保育は子どもの力を引き上げるのではなく、それぞれの子どもの成長発達に見合った育ちへの支援であり、読み書きができる、運動能力を伸ばす等、子どもはそれに応えようとし、保護者も就学時に困らない教育を期待する傾向があるが、無理をした取組をしていないか見直す機会として欲しい。また、牛乳パック、ペットボトル、段ボール、新聞紙等、身近にある物で子どもたちが主体となり遊具を手作りし、支援を要する子どもや未満児には、興味を示す手作りおもちゃと一緒に考えるなど、自分でおもちゃを手作りすることで遊びの創造性を育む環境の工夫に期待したい。

・前回改善点の着手

その日の給食メニューを文字だけでなく、絵や写真等での案内への改善。

個人情報保護や守秘義務等を明文化したボランティア向けマニュアルの整備。2点は前回の改善点であり、取組に期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価を通して、NPO法人ふるさと金山による園の運営組織体制、全職員による子どもを育てる姿勢、施設設備の充実と地域人材の活用、関係機関との連携による適切な支援について高い評価をいただきました。この4点は、これまで本園の特色として大切に引き継いできたこともあれば、新たな経営戦略により新たに評価いただいたこともあります。いずれにしても、本園にしかできない本園ならではの強みとして、改めて経営の柱にしていきたいと考えています。

一方、改善を求められた点もありました。保育の本質からぶれない、経営と研修を継続し改善に努めていきたいと考えています。また、5年前の評価にてご指摘していただいた2点について

は、前向きに改善していきたいと考えています。ボランティア向けマニュアルについては、早速着手し作成しました。また、給食メニューの改善については、次年度の課題として組織的に取り組んでいく予定です。

評価結果は、法人や園、職員のためだけではなく、最も大切にしなければならない子どものために生かしていけるよう改善を図っていきたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。